

2027年度

埼玉県立大学入学者選抜要項

I 入学定員及び募集人員

学部	学科(専攻)	入学定員	募集人員	
			一般選抜(分離分割方式)	特別選抜
			前期日程	学校推薦型選抜
保健医療福祉学部	看護学科	130名	65名	65名
	理学療法学科	40名	20名	20名
	作業療法学科	40名	22名	18名
	社会福祉子ども学科	70名	39名	31名
	(社会福祉学専攻)	(50名)	(28名)	(22名)
	(福祉子ども学専攻)	(20名)	(11名)	(9名)
	健康開発学科	115名	64名	51名
	(健康情報学専攻)	(45名)	(27名)	(18名)
	(検査技術科学専攻)	(40名)	(20名)	(20名)
	(口腔保健科学専攻)	(30名)	(17名)	(13名)
合計	395名	210名	185名	

※学校推薦型選抜の入学手続き者がその募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜(前期日程)の募集人員に加えます。

II 選抜日程

区分	出願期間	試験期日	合格発表	入学手続期間
一般選抜 前期日程	2027年1月25日(月) ～2月3日(水)	2027年 2月25日(木)	2027年 3月9日(火)	合格発表後～ 2027年3月15日(月)
特別選抜 学校推薦型 選抜	2026年11月2日(月) ～11月6日(金)	2026年 11月22日(日)	2026年 12月10日(木)	合格発表後～ 2026年12月23日(水)

Ⅲ 一般選抜

1 募集人員

学部	学科(専攻)	入学定員	一般選抜募集人員
			前期日程
保健医療福祉学部	看護学科	130名	65名
	理学療法学科	40名	20名
	作業療法学科	40名	22名
	社会福祉子ども学科	70名	39名
	(社会福祉学専攻)	(50名)	(28名)
	(福祉子ども学専攻)	(20名)	(11名)
	健康開発学科	115名	64名
(健康情報学専攻)	(45名)	(27名)	
(検査技術科学専攻)	(40名)	(20名)	
(口腔保健科学専攻)	(30名)	(17名)	
合計		395名	210名

2 選抜期日

前期日程試験 2027年2月25日(木)

3 出願期間

2027年1月25日(月)から2027年2月3日(水)までとします。

出願期間の最終日17時必着とし、一般書留郵便(必要に応じて、一般書留速達郵便)に限り受理します。

4 出願要件

次のいずれかに該当し、令和9年度大学入学共通テストのうち、各学科の指定する教科・科目を受験した者

- (1) 日本の高等学校(特別支援学校高等部を含む)又は中等教育学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

5 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、小論文、面接及び調査書等の提出書類を総合的に判定して行います。配点は、大学入学共通テスト500点、小論文100点、面接は点数化していません(本学で学習する水準に達しているかを確認)。

出願者数が各学科・専攻ごとの募集人員に対する下表の倍率を超えた場合は、2段階選抜を行うことがあります。2段階選抜を実施する場合は、大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を実施し、その合格者に対して小論文試験及び面接試験(調査書等含む)を行います。

学部	学科(専攻)	出願倍率	
保健医療福祉学部	看護学科	5倍	
	理学療法学科	5倍	
	作業療法学科	5倍	
	社会福祉子ども学科	社会福祉学専攻	5倍
		福祉子ども学専攻	5倍
	健康開発学科	健康情報学専攻	5倍
		検査技術科学専攻	5倍
口腔保健科学専攻		5倍	

6 大学入学共通テストの教科・科目及び配点

【前期日程】

(1) 看護学科〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語 ^{※1}	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』 ^{※3}	から1(注2)
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注1)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 ^{※4} 『物理』『化学』『生物』『地学』	から1
数学	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	から1(注2)
外国語 ^{※2}	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

● 配点

学科(専攻)	国語 ^{※1}	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語 ^{※2}	合計
看護学科	100	100 ※いずれか1科目		100	100	100	500

(2) 理学療法学科〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から2(注3)
情報	『情報I』	
理科 (注2)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学I、数学A』『数学II、数学B、数学C』	から1(注4)
外国語※ ²	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 第1解答科目は必ず合否判定に採用する。また、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、「理科」の1科目(第1解答科目)は必須とした上で、得点の高いもう1科目を合否判定に採用する。なお、「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「理科」を2科目受験し、2科目ともに「地理歴史・公民」及び「情報」の科目よりも高得点だった場合にのみ、「理科」の第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
理学療法学科	100	100 ※いずれか1科目		※理科1科目 採用の場合 100	100	100	500
		0 ※採用しない		※理科2科目 採用の場合 200			

(3) 作業療法学科〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語 ^{※1}	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』 ^{※3}	から2(注3)
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注2)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 ^{※4} 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1(注4)
外国語 ^{※2}	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 「歴史総合、日本史探究」と「歴史総合、世界史探究」の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。

(注2) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科(「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」)の中で他の教科よりも高得点だった場合にのみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

● 配点

学科(専攻)	国語 ^{※1}	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語 ^{※2}	合計
作業療法学科	100	200 ※いずれか2科目			100	100	500

(4) 社会福祉子ども学科（社会福祉学専攻・福祉子ども学専攻）〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史 ・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から1
情報	『情報Ⅰ』	から1(注2)
理科 (注1)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1(注2)
外国語※ ²	『英語』（リスニングを含む）	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史 ・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 福祉子ども学専攻	100	100	100 ※いずれか1科目		100	100	500

(5) 健康開発学科 健康情報学専攻〈5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』※ ³	から2(注2)
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注1)	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1(注3)
外国語※ ²	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 第2解答科目は合否判定に採用しない。

(注2) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。ただし、同じ教科からは、1科目(第1解答科目)のみを合否判定に採用する。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合／歴史総合／公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
健康開発学科 健康情報学専攻	100	200 ※いずれか2科目。 ただし、同一教科からは1科目のみ採用			100	100	500

(6) 健康開発学科 検査技術科学専攻〈4教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
理科	『物理』『化学』『生物』『地学』	から2
情報	『情報Ⅰ』	から1(注1)
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
外国語※ ²	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	数学	情報	理科	外国語※ ²	合計
健康開発学科 検査技術科学専攻	100	/	100 ※いずれか1科目		200	100	500

(7) 健康開発学科 口腔保健科学専攻〈4教科5科目又は5教科5科目〉

教科	科目等	科目選択方法
国語※ ¹	『国語』	必須
地理歴史・公民 (注1)	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』※ ³	から2(注3)
情報	『情報Ⅰ』	
理科 (注2)	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』※ ⁴ 『物理』『化学』『生物』『地学』	
数学	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	から1(注4)
外国語※ ²	『英語』(リスニングを含む)	必須

(注1) 「歴史総合, 日本史探究」と「歴史総合, 世界史探究」の2科目を受験した場合には、第1解答科目のみを採用する。

(注2) 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の「基礎を付した科目」と『物理』『化学』『生物』『地学』の「基礎を付さない科目」について、同一名称を含む組み合わせの採用を可能とする。

(注3) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い2科目を合否判定に採用する。なお、「地理歴史・公民」と「理科」の第2解答科目は合否判定に採用しない。ただし、「地理歴史・公民」、「理科」の教科において、それぞれ2科目受験し、同教科の2科目ともに3つの教科(「地理歴史・公民」、「情報」及び「理科」)の中で他の教科よりも高得点だった場合のみ、第1解答科目及び第2解答科目を同時に合否判定に採用する。

(注4) 指定する科目よりも多く受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に採用する。

※1 国語は、200点満点を100点満点に換算する。

※2 外国語(英語)は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点満点)をリーディング(150点)とリスニング(50点)の合計200点満点に換算したうえで100点満点に換算する。また、リスニングを免除されている場合は、リーディング(100点)を外国語(英語)の得点とする。

※3 地理歴史・公民のうち『地理総合/歴史総合/公共』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

※4 理科のうち『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、2つの出題範囲を選択解答し、1出題科目として扱うこととする。

● 配点

学科(専攻)	国語※ ¹	地理歴史・公民	情報	理科	数学	外国語※ ²	合計
健康開発学科 口腔保健科学専攻	100	200 ※いずれか2科目			100	100	500

7 小論文試験及び面接試験(調査書等含む)の配点等

(1) 小論文 100点

(2) 面接 本学で学修するための水準を満たしているか否か確認します。

※「否」となった場合には、大学入学共通テスト及び小論文の点数に関わらず不合格となります。

IV 特別選抜（学校推薦型選抜）

1 募集人員

学 部	学 科（専 攻）	入 学 定 員	学校推薦型選抜 募集人員
保健医療福祉学部	看 護 学 科	130名	65名
	理 学 療 法 学 科	40名	20名
	作 業 療 法 学 科	40名	18名
	社 会 福 祉 子 ども 学 科 （ 社 会 福 祉 学 専 攻 ） （ 福 祉 子 ども 学 専 攻 ）	70名 (50名) (20名)	31名 (22名) (9名)
	健 康 開 発 学 科 （ 健 康 情 報 学 専 攻 ） （ 検 査 技 術 科 学 専 攻 ） （ 口 腔 保 健 科 学 専 攻 ）	115名 (45名) (40名) (30名)	51名 (18名) (20名) (13名)
	合 計	395名	185名

2 選抜期日

2026年11月22日（日）

3 出願期間

2026年11月2日（月）から2026年11月6日（金）までとします。

出願期間の最終日17時必着とし、一般書留郵便（必要に応じて、一般書留速達郵便）に限り受理します。

4 出願要件

次のいずれにも該当し、出身高等学校（特別支援学校高等部及び中等教育学校を含む。以下同じ）長が責任をもって推薦できる者としてします。

次の①、②、③のいずれかを満たし、かつ、2026年4月から2027年3月までに高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者

①埼玉県内の高等学校に在学する者

②2026年4月1日以前から引き続き埼玉県内に住所を有する者*

③2026年4月1日以前から引き続き埼玉県内に配偶者又は一親等かつ直系尊属である者（本人の父、母等）が住所を有する者*

※「埼玉県内に住所を有する者」については住民票等に基づいて確認します。

(2) 合格した場合には、入学することを確約できる者

(3) 学業成績、人物ともに優秀で、かつ、志望学科の課程を学修する強い意志を有する者

(4) 出願時までの総科目全体の評定平均値が3.5以上の者

(5) 本学卒業後、埼玉県内において本学で修学した学科に関連する職業に従事する強い意志を有する者

5 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、小論文試験、面接試験及び調査書等の提出書類を総合的に判定して行います。配点は、小論文70点、面接及び調査書等30点、合計100点です。

なお、面接試験においては、入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）に基づく質問をします。

6 推薦人数

高等学校長が高等学校全体として推薦できる、各学科及び専攻の人数の上限は次のとおりです。

学 科 (専 攻)	人 数	学 科 (専 攻)	人 数
看 護 学 科	10人	健 康 開 発 学 科	
理 学 療 法 学 科	4人	(健康情報学専攻)	4人
作 業 療 法 学 科	6人	(検査技術科学専攻)	4人
社 会 福 祉 子 ども 学 科		(口腔保健科学専攻)	4人
(社会福祉学専攻)	5人		
(福祉子ども学専攻)	4人		

ただし、推薦を希望する生徒の中に次の①又は②に掲げる者がいる場合であって、これらの上限の下では当該生徒の希望に沿って推薦することができないときは、高等学校長は、上記の人数に、高等学校1校あたり、5人を限度として当該生徒の数を加えることができます。

- ① 2026年4月から出願時までの間に、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設若しくは婦人保護施設に入所若しくは通所し、又は自立援助ホーム、里親若しくはファミリーホームに委託されたことのある者
- ② 2026年4月から出願時までの間に、生活保護世帯に属していたことのある者

V その他

1 「学力の3要素」の評価方法について

各入試区分における、「学力の3要素」の評価方法については以下のとおりです。それぞれの要素は、各入試区分で定める選考方法、及び提出書類によって評価します。(◎は特に重視する要素)

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	◎	◎	
	小論文		◎	
	面接及び調査書等	○		○
特別選抜 (学校推薦型選抜)	小論文	◎	◎	
	面接及び調査書等	○		◎

2 障害等のある入学志願者の受験上の配慮について

病気・負傷や障害等のある入学志願者で受験上の配慮を希望する場合は、出願前に、事務局教務・入試担当に連絡し、相談してください。

入試区分	申出期日
学校推薦型選抜	2026年 8月31日(月)
一般選抜	2026年12月25日(金)

※申出期日後であっても不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により受験上の配慮を希望する場合は、申出ることができます。

3 個別の入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号に基づく入学資格審査を希望する場合は、大学入学共通テストの出願前に、事務局教務・入試担当に連絡し、相談してください。

4 初年度納付金について

区 分		金 額	備 考
入 学 料	埼玉県内の者	211,500円	入学手続き時に納付。 なお、埼玉県内の者とは、次のいずれかに該当する者をいう。 ①2026年4月1日以前から引き続き埼玉県内に住所を有する者 ②2026年4月1日以前から引き続き埼玉県内に配偶者又は一親等かつ直系尊属（父、母等）である者が住所を有する者 ※「埼玉県内に住所を有する者」については住民票等に基づいて確認します。
	上記以外の者	423,000円	
授 業 料		621,000円	入学後、前期、後期の2回に分けて納付。

(注意)

- ・ 入学料は2027年度入学者を対象とした金額です。
- ・ 上記のほか、学生教育研究災害傷害保険料、教科書代等の諸経費がかかります。

5 高等教育の修学支援制度について

本学は、2020年4月から実施されている国の高等教育の修学支援新制度の対象校になっています。これは、入学料・授業料の減免と、給付型奨学金とを併せて受けることができる制度です。対象となるには、世帯収入の要件（住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯）や学修意欲に関する要件等を満たしている必要があります。

詳細は右のQRコードから文部科学省のWebサイトをご確認ください。



6 奨学金について

(1) 日本学生支援機構貸与型奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が経済的理由で修学が困難な優れた学生に学費を貸与する制度です。無利息の第一種奨学金と、利息付の第二種奨学金があります。

詳細は右のQRコードから日本学生支援機構のWebサイトをご確認ください。

(2) その他、地方公共団体や民間団体、病院等が実施する奨学金制度があります。



7 後援会への加入について

入学後の学生生活を支援するため、保護者の皆様で後援会を組織しています。入学時に後援会への加入をお願いします。

8 募集要項等の請求（公表）方法等について

- ・ 配布時期（予定）

種 別	配 布（公 表） 時 期
大学案内	2026年6月上旬～
学校推薦型選抜 募集要項※	2026年8月上旬～
一般選抜 募集要項※	2026年10月上旬～

※学校推薦型選抜及び一般選抜では、パソコンやスマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

本学 Web サイトに公表される募集要項を閲覧・ダウンロードしてください。
 一般選抜募集要項の紙媒体は、別途「テレメール」（12 ページ）で請求が可能です。
 学校推薦型選抜募集要項の紙媒体の請求はできません。


・ 請求方法

(1) 大学の Web サイトから請求する場合

大学の Web サイトからテレメールを利用して大学案内等の資料が請求できます。
 詳しくは、埼玉県立大学 Web サイト (<https://www.spu.ac.jp/>) をご覧ください。
 募集要項は、大学の Web サイトからは請求できません。

(2) テレメールで請求する場合

① テレメールのサイトにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ)	https://telemail.jp	QRコードからアクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要。	
-----------------------	-------------------------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（送料含）
大学案内	561762	180円
一般選抜募集要項	581732	280円
一般選抜募集要項・大学案内	541752	315円

※一般選抜はインターネット出願のため、募集要項に紙の願書は含みません。

※学校推薦型選抜募集要項は、紙媒体の請求はできません。

●16 時までの受付は当日発送、16 時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。

●通常は発送日のおおむね 3～5 日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに 1 週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。

●資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。

●一般選抜募集要項の受付期間は 2027 年 1 月 28 日（木）正午までです。

●発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。

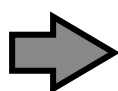
●資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

●随時発送の資料が 1 週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を 1 週間過ぎて届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達通常ありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。

●資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後 2 週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。

●料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い）」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料 30 円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料 118 円が、支払い時に別途必要です。

※ (1) 又は (2) の請求方法についてのお問い合わせは



テレメールカスタマーセンター（9：30～18：00）
 IP 電話 050-8601-0102

(3) 大学窓口で受け取る場合

月曜日から金曜日（祝日、年末年始、大学閉学期間を除く。）の9時から17時までの間に、事務局教務・入試担当窓口で受領してください（無料）。ただし、配布は大学案内と過去問のみです。

(4) 大学へ直接、郵送請求する場合

返信用封筒（請求者の住所・氏名を明記した角形2号の封筒）に郵送料分の切手を貼り、同封してください。大学宛に送付する封筒の表面に、**必ずご希望の資料の名称を朱書し**、郵送してください。

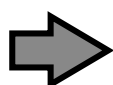
（記入例：学校推薦型選抜過去問題希望）

※ 各資料の郵送料金は、資料配布時期に、本学 Web サイトに掲載します。

（検索方法）

<https://www.spu.ac.jp/> → 入試情報 → 資料請求

※ (3)又は(4)の請求方法についてのお問い合わせは



〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学 事務局教務・入試担当
TEL：048（973）4117（ダイヤルイン）

9 埼玉県立大学 Web サイト、受験生応援サイト、入試情報プッシュ通知等

大学紹介映像や卒業生活躍映像のほか、大学案内・過去問題などの請求情報をスマートフォン、パソコンから閲覧できるほか、受験生応援サイト、入試情報の更新を知らせるプッシュ通知もあります。

●本学 Web サイト：



<https://www.spu.ac.jp/>

本学で取得できる資格や職業についてわかりやすくまとめたガイドブックも掲載しています。

●受験生応援サイト：



<https://www.spu-navi.jp/>

夢に向かって頑張る受験生を応援します！

●入試情報
プッシュ通知：



オープンキャンパスの案内や、学生募集要項の公表などについて、通知でお知らせします。

2026年度 埼玉県立大学入学試験一般選抜（前期日程）当初合格の状況

	看護学科	理学療法 学科	作業療法 学科	社会福祉子ども学科		健康開発学科		
				社会福祉学 専攻	福祉子ども 学専攻	健康情報 学専攻	検査技術 科学専攻	口腔保健 科学専攻
当初合格者数	72	22	28	36	12	44	20	17
満点	600	600	600	600	600	600	600	600
最高点	474.9	471.6	440.1	444.8	448.5	397.6	455.4	432.6
最低点	381.8	406.0	373.5	352.0	388.3	347.6	386.8	357.8

※点数は大学入学共通テスト及び小論文試験の合計です。

※学科（専攻）により大学入学共通テストの利用科目が異なりますのでご注意ください。